



右は本庄キャンパス早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター
 上は上越新幹線「本庄早稲田駅」

進化する本庄、新研究拠点を識る

都の西北、全国でも有数の野菜生産地、また人物埴輪など古墳時代から多くの遺跡をもつ街、この本庄市に早稲田が土地を取得したのは今から40年前です。当時の大濱総長の「国際的な新しい学部を」との考えをベースに「早稲田リサーチパーク」構想がスタートしました。1982年に本庄高等学校を設置、その後構想の具体化が進み本年4月には、国際情報通信研究科・センター(GITS/I)、環境総合研究センターが本拠を当地に移し、情報通信研究機構や同本庄開発支援センター、インキュベーション施設も本格活動を始めました。

GITIでは情報通信、社会環境、マルチメディアなどの研究をしています。が、映像や映画の研究を柱にCGなどコンピュータの技術によりここを日本のハリウッドにとの夢もあります。環境総合研究センターでは電気自動車をも

本庄の街に走らせ、住民も実際に乗ってもらうなど研究調査が行われています。また農業ロボットや農作物の流通すべてを管理する方法などを地元の人々と一緒に研究しています。起業家支援の「インキュベーション・カンパス本庄早稲田」では地元のベンチャー企業9社が入って産学連携拠点となっています。写真のコミュニケーションセンターは、産学公地域の交流の場として開放され、地域交流コーナー、ギャラリー、情報資料室(パソコン30台設置)、教室、会議室等が活用されています。

本庄へのアクセスは本年3月の上越新幹線「本庄早稲田駅」の開業で最速49分と大変便利になりました。

北に利根川をはさみ、四季により美しく変わる雄大な赤城山を望む本庄は今世界の科学技術革新を先導する研究開発、交流の拠点が創造されつつあります。(編集山口政澄・S36理工)

目次



国際会議場

進化する本庄、新研究拠点を識る	編集 山口政澄	1
会長挨拶	会長 山下邦康	2
活動計画と予算/役員紹介	役員会	2
「座右の銘」	鈴木国夫	2
125周年募金辛口インタビュー	早大理事 井原 徹	3
早稲田ニュース	事務局	3
早稲田が変わる 理工が進む	編集 高鷺 近	4
おとなりさん 西東京稲門会	中井 弘	4
ポストマンくばりある記 諏訪町2・3	吉高太郎	4
俳句「稲酔抄」	同好会	4
寄稿「英語の月名の不思議」	額田伊久夫	5
高齢期はプラス思考で	小久保清	5
同好会訪問記 ヨガ同好会	大西幸夫	5
俳句同好会	高杉風至	5
座談会「東村山雑学講座」を語る	司会 岡田一郎	6~7
出席者 川越勲生 山本ひさ子・大西幸夫		
「東村山雑学講座」内容	編集 部	7
ショート・SHORT	高橋文子・月森通夫・島野健太郎	8
事務局から	事務局	8
ドキュメント事務局長の某日	井垣和太	8
編集後記	編集 岡田一郎	8

東村山稲門会役員

会 長	山下 邦康	(昭36年教育)
副会長	小亀 輝雄	(昭34年 商)
	三宅 良太	(昭36年 商)
幹 事	☆井垣 和太	(昭37年 商)
	☆伊藤 友己	(昭51年政経)
	岡田 一郎	(昭40年 商)
	小野 智	(昭30年政経)
	☆久保 栄二	(昭46年 法)
	鈴木 国夫	(昭35年 法)
	田口 澄	(昭36年理工)
	当間 昭治	(昭43年 法)
	内藤 慎治	(昭28年 商)
	長井 治	(昭29年 法)
	野田 数	(平9年教育)
会 計	☆町田 和夫	(昭53年理工)
	☆高柳 剛	(平3年社学)
	崎山 裕子	(昭52年教育)
会計監査	上 素子	(昭40年 文)
	戸田 志郎	(昭43年 法)
顧 問	大西 幸夫	(昭30年理工)
	久世 利夫	(昭22年政経)
	塩見 之一	(昭25年専通)
☆印 事務局(局長 井垣和太)H16・9現在		

「親睦と研鑽」環境づくりが役員の役割

会長 山下 邦康

会員増強と新会員のフォローが

稲門会活性化へのジャンプ台



稲門会の立ち上げ時、まだ壮年の若さを誇った皆様も今ではすっかり白髪が目立つようになりまして。あれから八年もの歳月が流れたのですから当然のことでしょう。

あの頃は皆さん元氣洩刺で稲門会の活動はこうしよう、ああしようとお互に楽しく夢を語ったものです。会合が終わると何かにつけて一杯となりました。その酒量もさることながら、騒乱ぶりに場所のあるじを呆れさせ時としてひんしゆくをかうほどでした。それにもかかわらず、その伝統としきたりは今だにシッカリ守り続けられています。

でもさすがに最近酒もほどほどに、少し静かになりました。議論も穏やかでマンネリの心配が目立ちます。なぜでしょうか。残念なことには人の入れ替わりが少なく、役員や活動に参加している会員の方々も同じ顔ぶれなのが原因かも知れません。自分が

楽しむ分には何の不満もありませんが、これでは稲門会の老朽化を早めるばかりです。こうした事情から役員の皆様が奮起され

こうした事情から役員の皆様が奮起され、今春より新会員の増強キャンペーンを始めました。一挙に若手の校友をと、数をまとめてとか性急な成果は無理ですが、それでも着実な効果が出てきました。私たち役員は自分だけが楽しめればよいと云う思いを断ち切り、この楽しみをもっと多くの会員と分かち合うため、その土台や環境づくりに精を出そうと話し合っています。

またせつかくご縁の出来た新入会員には大いに楽しみ、一緒に活動して頂きたいのですから、私たちの受入れ姿勢も熱心さと工夫が必要です。その意味で同好会の活動も小さく固まつての満足に終わらず、常に同好の士を求め活動に新風を入れたいものです。それぞれ同好会で相談され、時にはお

役目をチェンジして新しい血を注ぎマンネリを防ぐことも一策です。今後とも会員の皆様のお知恵を頂戴して、役員一同役目ははたしてゆきます。月に一度の役員会はおオープンです。どうぞ皆様、そして会のお世話をして頂ける方も一度顔を出してみてください。

(S36教育)

04年度活動計画(案)

- 1 総会の開催(十一月十四日)
- 2 講演会(東村山雑学講座)開催
開催日は原則として奇数月の第一土曜日又は第二土曜日
- 3 役員会及び懇親会の開催
原則として毎月第一土曜日又は第二土曜日の午後開催
奇数月は講演会の前に実施
懇親会は夕刻より開催
新年会(正月)・花見会(四月)
納涼会(七月)の開催
- 4 同好会活動
新規同好会の発定促進
同好会の活動活性化と援助
会報および月刊「ユース」の発行
会報は年一回、十月初旬発行
「ユース」は毎月初旬、年十二回発行
会員名簿の発行
会員増強運動展開
早大125周年事業への協力
支部 近隣稲門会との交流
ホームページ・Eメールの活用
- 5 同好会活動
- 6 同好会活動
- 7 同好会活動
- 8 同好会活動
- 9 同好会活動
- 10 同好会活動
- 11 同好会活動

04年度予算(案)

収入の部		単位:円
前年度からの繰越金	300,000	
年会費	770,000	
総会時懇親会費	300,000	
新年・花見・納涼会費	320,000	
組織強化補助金	107,000	
早大125周年募金	330,000	
寄付等	50,000	
合計	2,177,000	
支出の部		単位:円
会場費	60,000	
講師謝礼	120,000	
会報「ユース」等制作費	300,000	
総会時懇親会等費用	300,000	
新年・花見・納涼会	320,000	
他会への参加費	90,000	
早大125周年寄付	330,000	
// 三多摩支部分	30,000	
事務通信費	150,000	
事務用品費	50,000	
同好会補助費	120,000	
その他雑費	100,000	
予備費(含繰越金)	207,000	
合計	2,177,000	

鈴木国夫

座右の銘

私は校歌の「現世を忘れぬ久遠の理想」という言葉を座右の銘とし、常に心の片隅にとどめるように努めています。理想ばかり追いかけて現実を忘れると空想・妄想となり、理想を持たず現実にばかり固守すると身勝手な卑しさとなってしまいます。我々の社会は矛盾に満ちており、不条理なことがあまりにも多すぎます。しかし、それが現実である以上、これを直視してあるべき姿(理想)に少しでも近づけるようにする必要があります。私は現在調停委員をしていますが、争いごとに明け暮れる毎日の生活の中で、どうしたら調和をはかることができ

(S35法)



井原募金局長

編集部が、早稲田大学創立125周年記念事業募金を推進している井原募金局長東村山稲門会員に、辛口の直撃インタビューをしました。

編集部・募金の状況はいかがですか。

井原…七月末で約七十二億円のお申し込みを受けています。八年間で二百億円ですので、募金期間の半分を過ぎた現段階で百億円に達していることがベストなのですが……。

編集部…早稲田大学は拡大・拡張路線を敷いている。もう規模の拡大は止めて、募金も縮小したらとの意見があります。

井原…学部が二つ増えましたが、既存の学部学生数を減らしてのことですから、学部学生は増えていません。一方、大学の教育研究レベルの向上のため、大学院を充実させたいので、若干の学生数の増加がありますが、それほどの拡大はしていません。早稲田の真髄である「多様性」の追求が「拡大」と誤解を招いているのだと思います。編集部…「箱もの募金」は如何なものかという声もあります。

井原…募金開始当初からよくそういった批判を受けてきました。今回の記念事業が教室棟や学生会館の建設、大隈講堂のリニューアルですから、箱ものといわれればそのとおりです。しかしぜひご理解いただきたいのは、高いレベルの教育研

「多様性」の追求、教育研究向上に必要な「箱もの」拡大・拡張路線は誤解

早稲田大学理事長
創立125周年記念事業募金局長

井原 徹

究を行うには良い施設が必要ということ。箱をつくるのが目的ではなく、良い教育研究を実践するための条件整備ということです。

編集部…それにしても、民間がリストラで血を流しているときに、安易に募金に頼るのはおかしい、大学は自助努力をしているのかとの声も聞きます。

井原…現在、募金で苦戦している理由はいくつかあると思います。最大の理由はやはり日本経済の低迷です。募金開始当

時の経済はどん底だったため、企業募金は一年半遅らせ二千一年十月から始めました。この間、企業は死に物狂いの努力を行い、最近やっと明るい兆しが見えてきました。そうした企業から寄付をいただくのですから当然、大学の自助努力が必要です。財政改革により、節約できるものは最大限節約し、教職員の給与もここ数年ベアゼロです。

編集部…ところで、教職員の募金はいかがですか。学外にお願いする以上、学内者が全員寄付している必要があるのではないですか。

井原…おっしゃるとおりです。総長も私も教授

会などで、学内者がやらなければ、どの顔下げてお願ひできますか、と訴えています。現在教職員の約半数が応募しています。最終的には限りなく全員を目指しています。

編集部…今迄も〇周年募金という形で募金が続いてきましたが、今後も続けていくのですか。

井原…早稲田大学は創立以来、二十周年を皮切りに、二十五、三十五、四十、五十、六十、八十、百周年と、募金の歴史を重ねてきました。これらの募金によって校舎や、大隈講堂が建ちました。早稲田に限らず、私学の歴史は募金の歴史です。今回の募金で実に九回目の周年募金です。しかし、先ほどの指摘にもありましたが、世の中の変化によって、こうした〇周年募金というやり方が、理解されにくくなっていることも、四十年間企業回りをした私の実感です。今後は常時募金体制に切り替えて、プロジェクトごとに企業等に訴えていく必要があると思っています。そういう意味では今回は最後の周年募金にすべきだと思います。

編集部…学生の不祥事に続いて教員のハレンチな事件も起きました。校友としては「もういいかげんにしてくれ」という気分です。

井原…誠に申し訳ないし、悔しいと思います。こ叱正も随分と受けました。しかし、「こんなことで負けるな」とエールを送ってくれる校友も多くありました。ありがたいことです。

編集部…最後に何でも結構ですので一言どうぞ。

井原…つい最近の評議員会で決まったのですが、記念事業に理工学部の再編に伴う事業を追加しました。理工学部の三学部再編に際して新たに六十三号館(仮称)を建設しこれを記念事業

に加えることにしました。新しい理工学部には生命医科学科を新設し大学がこれまで培ってきた医学関係の学問を集約し、名実ともに総合大学としての充実を図ろうという計画です。校友の皆様のご理解と一層のご支援を心からお願ひ申し上げます。(編集・田口政澄S36理工)

WASEDA NEWS

■商学部が本年九月創設百周年を迎え、「九月試験・入学制度」「三年半卒業制度」の導入を決定。国際化の局面に対応。

■二〇〇四年四月に会計専門職大学院を開設。このほどアカウンティングスクールの認可申請が受理された。新時代の要請に応える会計スペシャリストの養成をめざす。

■スーパーCOEに「先端科学と健康医療の融合研究拠点の形成」が選定される。私大初の快挙で、「医療と早稲田」を掲げ新たな研究拠点としてスタートする。

■北九州キャンパス大学院情報生産システム研究科で二〇〇五年入学希望者を対象にして五月にオープンキャンパスが開催された。北九州は急成長を遂げているアジアの都市とも近く、早稲田大学のアジアとの教育や研究交流の拠点として発展が期待される。

■所沢で知的財産還元・地域との連携が好評。「所沢市民大学講座」の中で早稲田卒「所沢スポーツ科学塾」が好評、また市内に向いての公開講座「学術シンポジウム」は地元教員と市民との交流が図られている。

■国家公務員採用I種試験合格(二〇〇四年度)早大一一五(一一八)東大四九八(四八八)京大二二(二〇〇)慶大八五(八二)九大七三(八三)東北六七(七五)

()は二〇〇三年度

早稲田が変わる 理工が進む!

早稲田大学理工学部は、二〇〇七年度より大きく変わります。現在十三ある学科を十六学科に再編成し、新たに「生命医科学科」を新設し、これまで手薄だった医療分野に進出します。

新設の「生命医科学科」は医療工学や生命工学、医学など医療関連分野を扱います。早稲田大学には医学部はないものの、人工心臓や人工血液、ロボット医療などで医療工学の実績があり、

「生命医科学科」を新設し、医療分野に進出

この分野の強化が考えられていました。

新たな学部・研究科は、次の三つ。

◆先進理工学部・研究科(物質・生命・システム)

◆基幹理工学部・研究科(情報・数理・機械・マテリアル)

◆創造理工学部・研究科(ヒューマン・生活・環境)

「生命医科学科」は「先進理工学部・研究科」の学科の一つです。

このように理工学部を大改革する背景として、近年「知の展開(学術)」「能の深化(産業・社会基盤)」「技の開花(文化)」が互いに密接に関係しながら、加速を続け、その流れを先導する大学の役割がますます重要になってきていることが挙げられます。歴史上、前例をみないほどテ

クノロジーに支えられた人類社会への責任を果たすためには、既存の学問領域の枠を超えた連携が不可欠になります。

早稲田大学理工学部・研究科は、従来から社会のダイナミズムに迅速に対応すべく、学科再編や学際領域専攻の新設を行うなど、カリキュラムの

整備・拡充を積極的に推進してきました。この動きをさらに加速するために、「生命医科学系」の拡充を契機として、二十一世紀の重点科学技術分野である「バイオテクノロジー」「IT」「環境」「ナノテクノロジー」を踏まえ、「知・能・技」を主導的に展開し得る人材の育成を推進すべく、新体制を構築することとなります。

今後は新体制のもと、早稲田大学理工系の有する先進性とスケールメリットを保持しつつ、機動性と展開性を図るため、従来の学部・大学院の概念を超えた「総合理工系ユニバーシティ」という枠組みを世に問い、さらに学際・産業界と連携、融合する教育・研究を遂行していくという。

(編集・高鷲近S35文)

ねっ
わーく

おとなりさん ④

西東京稲門会
会長 中井 弘

西東京稲門会は保谷、田無両市の合併に伴い、平成十三年五月に設立総会を行って三年余、合併の成果を上げつつあります。会員相互の親睦は総会、春夏秋冬の特色ある懇親会、新年会の五大大行事のほか二十にも及ぶ活発な同好会の活動によります。特筆すべきは参加者三十名で八日間に及ぶ日中国交三十周年記念訪中交流会、母校の稲門祭に男の料理教室が自慢料理を披露する模擬店を出店し

て、当会の知名度向上を計っています。同好会は家族知人にも門戸を広げています。当会の活動に刺激されて西東京の三田会も活発になり、合同ゴルフコンペを開催したり、地域社会の貢献も両会を中心に西東京にも日中友好協会設立の動きが進展中です。現会員三百十人に配布する情報資料及び一定期間毎に在住校友三千名に対する入会案内などは、会員によるポストマン制度で手配りをして、会の財政を補っています。



稲 醉 抄

二丁目の画廊に消ゆる白日傘
蝉出でし穴に囲まれ石仏

菊田 一平

靴洗ふ少女に揺るる冬日かな

井垣 稲雀

らつきょうの匂ふ厨房走り梅雨

八木 竜湖

通り抜け断りとあり花馬酔木

小亀 稲生

病癒え家路を急ぐ師走かな

大野 恵峰

風間 和夫

ポストマン
くまある記

5



諏訪町

二・三丁目の巻

吉高 太郎

五月の稲門会ニュースにポストマン欠員補充の話が掲載されていました。私の居住する地域を担当していた方が病気とのこと。躊躇うことなく井垣さんに連絡し、引き受けさせていただいた。同封の地図を片手に三〇分、地番しか分らない方へは電話で確認し、無事配り終える。身近な所に稲門関係者が居るものがある。私は現在現役の会社員。会社組織以外の社会に少しでも多く関わろうと意識している。特に東村山という地域において少しでもお役に立てれば幸甚なこと。ポストマンも四ヶ月目。自転車に跨り颯爽と配っております新人ポストマンですが、ごつかつつ。 (Sano政経)

ヨガ同好会

大西 幸夫

ヨガ同好会は平成十四年発足。開催日はアンケートの結果、平日のみと土日曜希望の二通りを満足させるため原則として第一月曜日と第三または第四日曜日としております。ヨガと言うとアクトバットの様な姿勢をイメージし、難しいのではないかと思う人が多いと思いますが、昔インドにて心身の健康のために開発されたもので所謂ストレッチ体操の様なものと思つて頂ければ良いのです。我々は年寄り向きに畳の上で座ったり横になった姿勢で行っていますから、健康で人生を全うしたいと考えている方は是非ご参加下さい。

39512817 (S30理工)

英語の月名の不思議

額田 伊久夫

英語の月名を1月から12月迄を頭の中で並べて見て下さい。8月以前と9月以後では明らかに違いが有るのに気が付くかと思ひます。まず8月以前の月名はギリシャ・ローマ神話(1, 3, 5, 6月)人名(7, 8月)其の他(2, 4月)から命名されています。問題は9月以後(September, October, November, December)です。何れもラテン語の数の呼び方です。Sept, Oct, Nov, Decは7, 8, 9, 10を表します。Septet, Octopus, Novena, Decadeを辞書で調べて見て下さい。夫々7, 8, 9, 10に関係する言葉です。以上の様にSeptemberは7番目の月、Octoberは8番目の月、Novemberは9番目の月、Decemberは10番目の月と言う意味で、9月以後は1月からの順番と呼び名に2ヶ月の差が在ります。何故、欧米諸国でこの様に辻褄の合わない月の呼び名が約2700年に亘って使われていたかと言うと、古代ローマの2代目王ヌマ(BC715~BC673)が暦を改革した事に端を発しています。この改革前の暦では現在の3月が1月(1番目の月)でした。この改革で11月、12月を1月の前に持って来て従来の11月を1月とし12月を2月、1月を3月とし、2月を4月、3月を5月とし、4月(改革後の6月)迄に名前をつけました。7月(以前の5月)以後にはこの時点では名前を付けず、従来の呼び名を其の儘使い、7月を5番目の月(Quintilis)、8月を6番目の月(Sextilis)、9月以後を7番目の月(September)、8番目の月(October)、9番目の月(November)、10番目の月(December)とした事が順番と名前が2ヶ月ずれた原因です。尚、7月はシーザー(7月生まれ)、8月は初代皇帝アウグスタスを記念して後に夫々現在の呼び名に命名されました。(S31理工)

同好会
訪問記CLUB
5

俳句同好会

高杉 風至

当初、稲門会ニュースに三名の投句で始まりました。その後、人数も増えて句会という話になり、二年前の四月に第一回が開かれました。以来、二ヶ月に一度の句会を楽しんでいます。句会は全出句から各自が選んだ句について感想や意見交換をし和気藹々と学びます。今後は、仲間で野に出たり、名所を訪ねて一緒に作句することも予定しています。誰もが句を作りだすと自然の変化に敏感になるし、自分の生き方記録になると言います。初心の方も女性(現在、紅一点も気軽に)お出かけ下さい。一同お待ちしております。

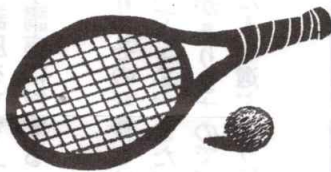
39118447 (S32教育)

今わが国は超高齢社会の真只中にある。北欧・欧米諸国を鈍行列車に譬えるなら日本は新幹線速度で高齢化が進行している。高齢期は心身の健康の喪失、経済的基盤の喪失、社会的役割の喪失、生きる目的の喪失や喪失の時代と言われる。ついマイナス思考になりがちであるが、反面仕事から解放され、自由時間が拡大し、地域社会に貢献でき、人生を謳歌できる時期ととらえプラス思考に切りかえれば高齢期もまた楽しからずやです。私は五十代からひよとした縁で高齢者福祉という場違いな場に身を置くことになり、様々な高齢者に接する機会を得ました。

高齢期はプラス思考で

小久保 清

元氣はつらつと生きている高齢者の共通点はプラス思考に徹している人、自分なりの生き方を確立している人、家に閉じこもらず積極的に外に出て行く人、多趣味な人、好奇心の旺盛な人、主体的に行動する人、他人に依存的にならない人ということになるでしょうか。行政・民間団体が様々な高齢者サービスを提供していますが、人は与えられるだけでは満足は得られないようです。積極的に、主体的に行動し、他者に必要とされる存在であり続けることが生き甲斐のある生活に通じるのではないのでしょうか。人生九十年時代、充実した老後を楽しみたいものです。(S36法)



その他の同好会一覧

旅行同好会

会員30名 年1回開催
世話人 風間和夫 394-5279

麻雀同好会

会員33名 年4回開催
世話人 小野 智 391-9523

カラオケ同好会

会員18名 毎月1回開催
世話人 内藤 慎 308-0289

郷土史の会

会員30名 年3~4回開催
世話人 三宅良太 394-5298

テニス同好会

会員15名 毎月1回開催
世話人 当間昭治 391-6023

囲碁同好会

会員25名 年10回開催
世話人 野村保夫 394-0417

園芸の会

会員25名 年6~7回開催
世話人 三宅良太 394-5298

ウォーキング同好会

会員30名 年間2回開催
世話人 町田和夫 394-2438

ゴルフ同好会

会員40名 年4回十回随時開催
世話人 井垣和太 396-3100

気学同好会

会員10名 毎月1回開催
世話人 藤本継男 391-6768

絵画同好会

会員8名 指導陣3名 春秋随時
世話人 塩見之一 395-3718

山とハイキングの会

会員15名 年4回開催
世話人 久保栄二 396-4577

座談会

『東村山雑学講座』を語る

出席者

大西 幸夫 (東村山稲門会・前会長)
川越 勲生 (東京雑学大学・理事)
山本 ひさ子 (東村山市在住・主婦)
司会・岡田 一郎 (S40商)

東村山稲門会の雑学講座は回を重ねて六年目。本年九月で35回を迎えました。この雑学講座を立ち上げられた大西前会長と、いつも参加されている市民の代表お二方にお集まりいただき、雑学講座に対する「意見・ご要望等」をお聞きしました。

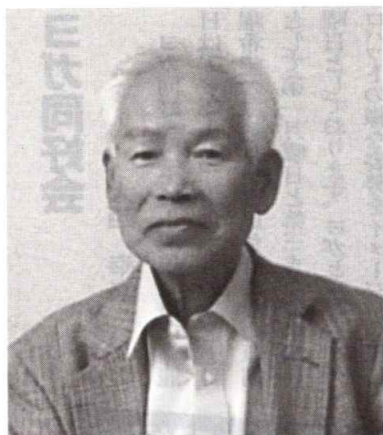
雑学講座が生まれるまで

司会

東村山稲門会は六年前から地域の方々を対象に、無料で「東村山雑学講座」を開催してきました。まず、この講座開催に尽力してこられた大西前会長に、開催されるまでのいきさつをうかがいたいと思います。

大西

六年前、東村山稲門会の役員会に提案し、二ヶ月に一回の開催を決めました。当初は、会員のための講演会で、講師も会員にお願いしていました。東村山稲門会の会則



大西さん

司会

大西

苦心されたことも、いろいろとおありかと思いますが……
講師選びですね。当初は早稲田に関係のある方を選んでいました。最近ではその枠を外しております。参加者の方も、現在是一般市民の方が二十%を越えています。それに、市民の方に「お知らせ」の案内を出していますが、百通ほど



川越さん

司会

川越

いつもご出席いただいているお二方にお伺いしたいと思います。これまで印象に残った講座には、どのようなものがありますか。

雑学講座、こうして欲しい

司会

川越

ご意見・ご要望は……
講演の中身にもよるが、一時間半では不足することが多い。聞きっぱなしではもったいない。講師との

山本

を念頭においた講座がもっとあっても良いのでは。地域に密着した講師・内容のものを増やしてはどうでしょうか。

司会

川越

清瀬市の社会参加を考える会が主催した「薩摩琵琶」を聞いて感動しました。このようなものが開催できないでしょうか。また、私の母が七十三歳のときに仲間と体験談を出版しました。これを読むと貧乏だったけれど心が豊かなことが分かります。無名ではあっても苦労した人の話を、ぜひ聞かせていただきたいと思います。

大西

山本

講師選びが大事ですね。講師選びのコツは何でしょうか。
東村山稲門会は会員数も多く、多士済々だと聞いていますので、会員から推薦してもらったかどうか。また、「町を愛する」という視点から、市議会議員や市の職員などから地域に密着した話を聞くのも、どうでしょうか。
稲門会は、特定の政党に偏しないことを大原則としていますが、参考になります。
難しい話は敬遠されますね。

東村山雑学講座内容

回数	開催日	講座内容	講師(☆印は、当会会員)
第1回	H11.01.09	ビールに見る嗜好の変化と起業の栄枯盛衰	☆藤澤博恭
第2回	H11.03.06	ゲーテが愛した妻クリスティーネ	☆重原真知子
第3回	H11.05.08	効果的で楽しい海外旅行のコツ	☆吉本正典(日航OB)
第4回	H11.07.03	気と気功	山本富士雄(武蔵野稲門会副会長)
第5回	H11.09.04	甦る早稲田スポーツ	☆関一誠(早稲田大学教授)
第6回	H11.11.20	落語	春風亭昇七、桂小文
第7回	H12.01.08	高齢社会の家族のありかた	小杉山礼子(小金井市稲門会副会長)
第8回	H12.03.04	草食文化と日本人	国米家己三(東久留米稲門会副会長)
第9回	H12.05.13	川柳に見るおなら文化考察	☆佐藤清彦(作家)
第10回	H12.07.01	市の都市計画とマスタープラン	飯田弘(市役所課長補佐)
第11回	H12.09.02	作家の目から見た人間の生と死	☆山崎光夫(作家)
第12回	H12.11.23	こころの安らぎと音楽	宮沢正安(日本環境研究所所長)
第13回	H13.01.14	近代日本150年の反省と21世紀	樋口剛(日経新聞OB)
第14回	H13.03.10	歩いて健康を	林泰史(多摩老人医療センター院長)
第15回	H13.05.12	中国雲南地方に草笛の音を求めて	河津哲也(元早稲田高等学院教諭)
第16回	H13.07.14	人権思想と相続	☆益田昂(弁護士)
第17回	H13.09.08	多摩秩父の山歩きと不思議物語	竹村鉄郎(東久留米、かたらい会会長)
第18回	H13.11.24	説経浄瑠璃口演	若松若太夫(若松流4代目)
第19回	H14.01.12	官僚の姿とうらおもて	清水道夫(元外務省、大使)
第20回	H14.03.09	人生を10倍楽しくする方法	佐野常夫((株)エディット取締役社長)
第21回	H14.05.11	間違いだらけの景気論議	山本雄二郎(西武産業大学教授)
第22回	H14.07.13	ブールの健康的な楽しみ方	池田恭子(ちば水中散歩会理事長)
第23回	H14.09.07	実りある人生実現のために	松澤純子(自由時間開発協会主任研究員)
第24回	H14.11.24	地方都市行政のあり方	岩橋辰也(都城市長)
第25回	H15.01.11	住宅と結露	☆高部素行(清水建設OB)
第26回	H15.03.10	東ティモール独立見聞録	☆野田数(市議候補)
第27回	H15.05.10	人生を豊かにする話術	石河信昭(メルヘンワークス代表)
第28回	H15.07.12	塩原温泉と文士たち	田代芳寛(和泉屋旅館15代当主)
第29回	H15.09.06	民芸の楽しみ方	浜田琉司(民芸協会常務理事)
第30回	H15.11.08	レクチャーコンサート	久元祐子(ピアニスト)
第31回	H16.01.10	着物の話あれこれ	荒居隆二(呉服、婦人服販売業)
第32回	H16.03.13	新幹線と在来線の違い	斉藤雅男(元新幹線総局次長)
第33回	H16.05.08	放送夜話	吉沼勇(元NHK番組制作者)
第34回	H16.07.07	悪魔の兵器 対人地雷の廃絶	北川泰弘(JCBL代表)
第35回	H16.09.11	辺境の山と旅	伊佐九三四郎(山岳書作家)

大西 おっしゃる通りです。興味あるテーマを選ぶようにしていきたい。
川越 生涯学習をもっと表面化してはどうでしょうか。たとえば、健康・食品などに関するテーマなど。
司会 その他、雑学講座に対するご意見ご要望をお聞かせください。
山本 最初は私が参加して良いのか、またどこに座ったら良いのか分からず、戸惑いました。皆さんが気楽に参加できる工夫が必要と感じました。また、「雑学講座案内」のチラシを市役所などへ置くのも効

果があると思います。予算の問題もあるでしょうが、一般市民に周知させることが大事です。



山本さん

司会 「ピアノ」の時は、大きな会場だったので、実施しました。今のことは大事なことで、稲門会の役員会で提案させていただきます。
川越 稲門会の雑学講座のエネルギーは素晴らしい。先ほども申し上げましたが、町づくりに関するテーマをもっと多くしていただきたいというのが私の希望です。
川越 他は、特定非営利活動法人の「東

他の講座と比べて

京雑学大学」に関係していますが、会員確保が課題となっています。年間五十回(毎週)開催していますが、八十%以上出席した方を表彰しています。毎週開催は、生活のリズムとなっている人も多いようです。講師は一年ぐらい埋まっています。会員以外は、一回につき五百円いただいています。会費を徴収すれば自分の会という気になり、参加しやすいようです。私もお金をとってくれたほうが、行きやすいと思います。私は清瀬市の「社会参加を考える会」にも参加していますが、継続するのが大変です。会員は十年もすれば高齢化して参加しにくくなります。世代交替を考えることが大事だと思います。

司会

貴重なご意見を、ありがとうございます。(まとめ高鷲近S35文)

東村山稲門会 総会

日時 十一月十四日(日)

場所

午後三時
BELLE HALL東村山恩多町二一四一一三
(新青梅街道沿い)

懇親会

午後六時(同ホール)

記念講演

上 幸雄氏

(当会会員)

